国民の森林・国有林

吉井川森林計画区の概要と次期計画の検討方向



林野庁 近畿中国森林管理局
岡山森林管理署

津川山国有林（津山市）

吉井川森林計画区における
国有林の特徴的な取組

吉井川森林計画区の概況

【吉井川森林計画区位置図】



○吉井川森林計画区は、岡山県東部に位置し、国有林野は北部の中国山地脊梁地帯、中部の吉井川中流から南部の瀬戸内海島しょ部にかけて大小の団地が散在。

○森林の総面積184千haのうち国有林野は13千ha（7%）。

○瀬戸内海国立公園等の一部を形成し、豊かな森林景観及び豊富な観光資源に恵まれ、ハイキングなど森林を利用したレクリエーション・保健休養の場として広く利用。

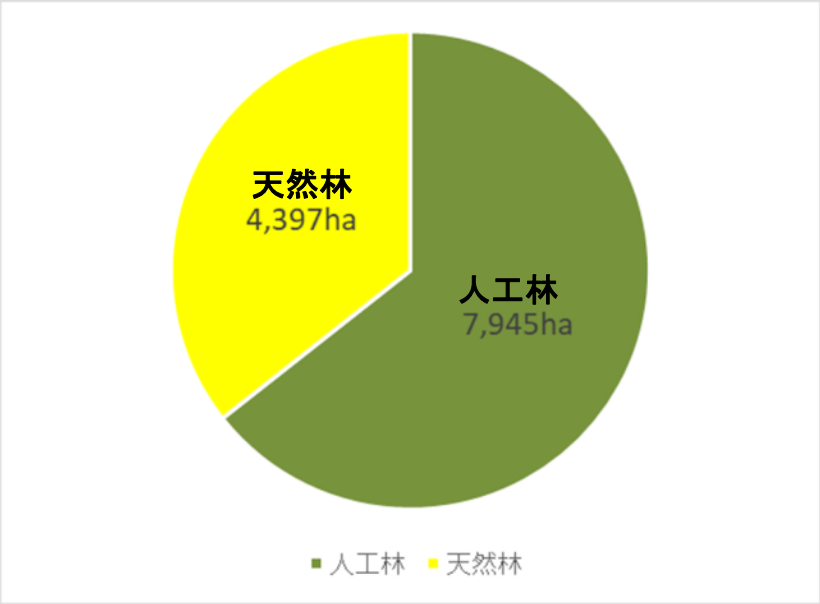
（該当市）
津山市、備前市、瀬戸内市、赤磐市、美作市、和気町、鏡野町、奈義町、美咲町

森林資源の状況

○面積割合は人工林が64%、天然林が36%

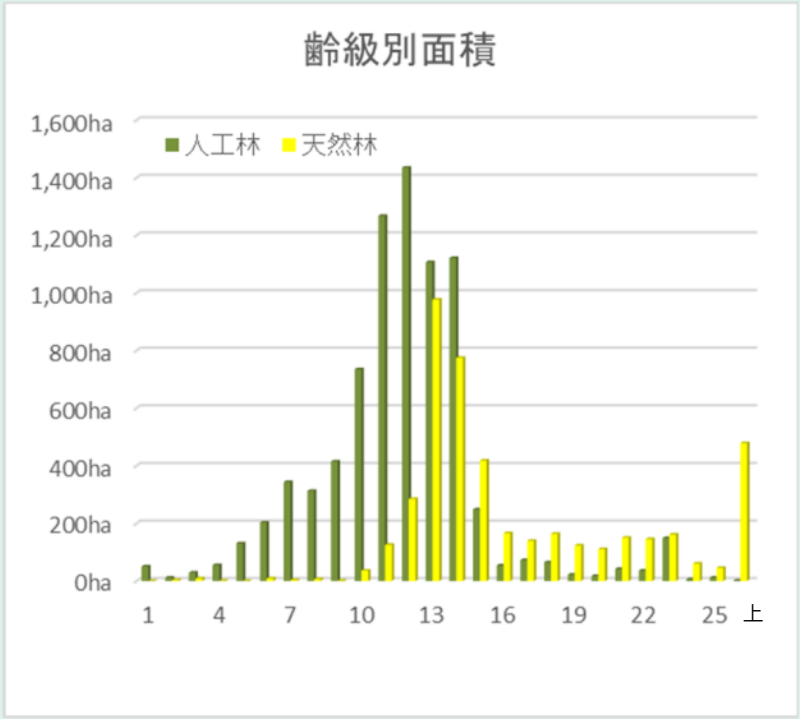
○人工林の蓄積割合は、スギ41%、ヒノキ45 %、クロマツ、アカマツ6 %、その他が7%

【人工林・天然林の面積割合】



○人工林の齢級は10齢級から14齢級が中心

※齢級とは、森林の年齢(林齢)を5年でひとくくりにし、林齢1～5年生を1齢級、6～10年生を2齢級、以下3齢級・・・と称する。

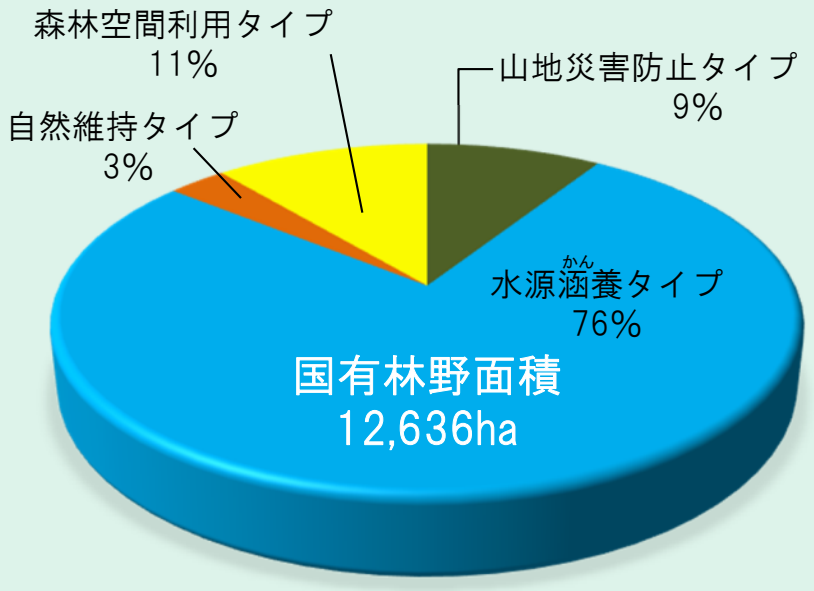


機能類型に応じた管理経営

○重点的に発揮すべき機能によって、森林を５つの機能類型（タイプ）に区分し、適切な管理経営を行っています。

機能類型	面積 (ha)	対象とする森林
山地災害防止タイプ	1,175	土砂崩れや土砂の流出等による山地災害や飛砂、潮害等の気象災害を防ぐことを目的に整備する森林
自然維持タイプ	405	原生的な森林生態系や貴重な動植物が生息・生育するなど特別な保全・管理が必要な森林
森林空間利用タイプ	1,445	国民の皆さんが森林とふれあう場として、また、森林ボランティア団体等の活動の場としての森林
快適環境形成タイプ	0	騒音の防備や大気の浄化等生活環境の形成を目的に整備する森林
水源涵養（かん）タイプ	9,612	洪水の緩和、水質保全等を目的に整備する森林

【機能類型別割合】



主要事業

（現行計画量：R5～R9年度）

（事業実績：R5～R7年度）

- 伐採量

	現行計画量	
	面積(ha)	材積(㎥)
主伐	419	93,268
間伐	1,632	164,688

	事業実績	
	面積(ha)	材積(㎥)
主伐	59	32,351
間伐	109	18,666

- 更新量

現行計画量（ha）	
人工造林	天然更新
364	－

事業実績（ha）	
人工造林	天然更新
79	－

- 保育量

現行計画量（ha）		
下刈	除伐	枝打
851	56	－

事業実績（ha）		
下刈	除伐	枝打
40	6	－

主要事業

（現行計画量：R5～R9年度）

（事業実績：R5～R7年度）

・林道

現行計画量		
	開設（m）	改良（箇所）
数量	1,000	5

事業実績		
	開設（m）	改良（箇所）
数量	―	―

・治山

現行計画量	
保全施設（箇所）	8
保安林整備（ha）	―

事業実績	
保全施設（箇所）	6
保安林整備（ha）	―

公益的機能の維持増進

国　土　の　保　全

○保安林及び治山施設の整備

山地災害防止機能や水源涵養機能等を高度に発揮させるため、保安林を配備するとともに、保安林の機能を高めるための治山事業を実施しています。

水源かん養保安林



黒木国有林（津山市）

保安林の指定状況（R7年度末）

保安林の種類	面積(ha)
水源かん養保安林	10,445
土砂流出防備保安林	1,204
保健保安林	1,420
魚つき保安林	827

※　保安林種が重複する箇所がある

国　土　の　保　全

○保安林及び治山施設の整備

施工前



施工後（渓間工）



日笠山国有林（和気町）

国有林野の維持及び保存

○森林病虫獣害対策

本計画区北部では、ニホンジカの生息密度が高く、植栽木や下層植生への食害が発生していることから、防護柵の設置等の被害対策を行うとともに、管内の自治体、鳥獣害対策協議会、猟友会等に対し、協定に基づくワナの貸与等の支援を実施しているところです。

鳥獣被害対策の実施状況
（R5～R7年度）

ニホンジカの捕獲頭数	227頭
協定の締結	2 団体



越畑山国有林（鏡野町）

林産物の持続的かつ計画的な供給

林 産 物(木材) の 供 給

路網、高性能林業機械、列状間伐を組み合わせた低コストで効率的な間伐を推進し、多様で健全な森林づくりを通して生産される木材の計画的な供給に努めています。

また、根株・小径木などの未利用間伐材については、木質バイオマスの利用拡大に努めています。

低コストで崩れにくい路網整備 ＋ 高性能林業機械の活用 ＋ 列状間伐の導入





岩渕国有林（津山市）



低コスト化に向けた取り組み
～　生産と造林の一貫作業システム　～

・植付けの時期を選ばないコンテナ苗を用いることで伐採後直ちに植付が可能（花粉の少ない苗木等の導入）
・木材の運搬機械を苗木や防護柵等の造林資材運搬にも活用することで、造林コストを低減

［伐採］



［造材］



［搬出］



［造林資材の運搬］



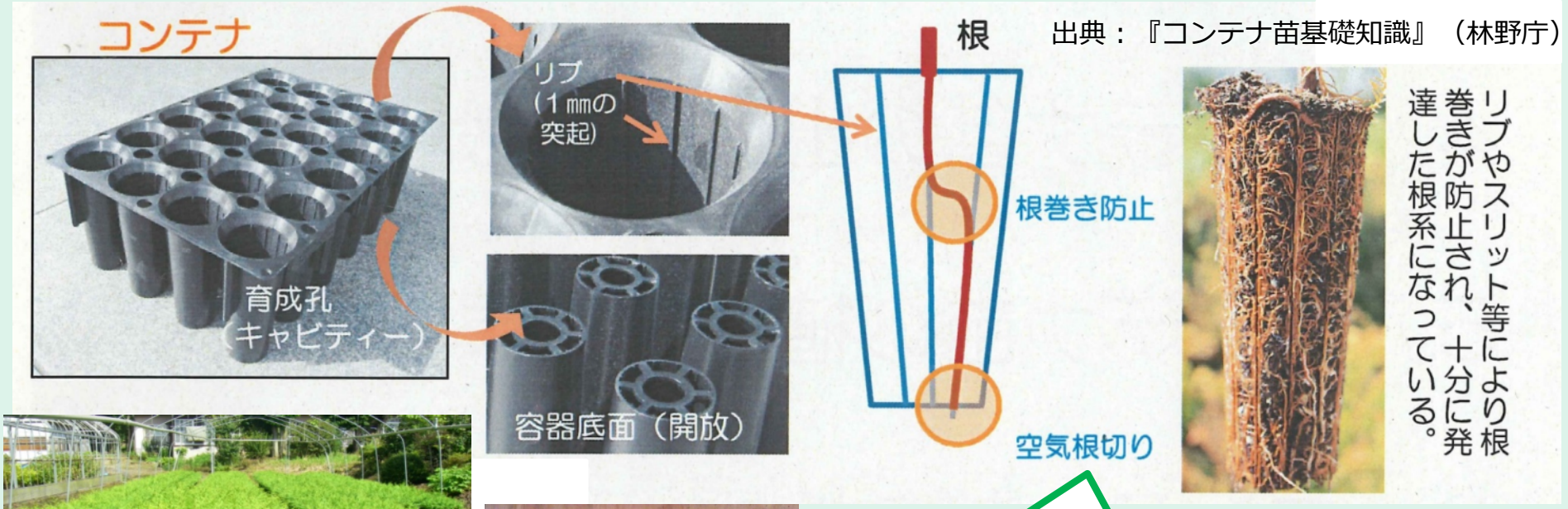
［植栽］



※一貫作業システム：伐採と植栽を一体的に行う作業

低コスト化に向けた取り組み
～　コンテナ苗　～

・苗木を育成する容器の内面にリブ（縦筋状の突起）を設け、底面を開けることによって、根巻きしにくい苗木を生産
・根鉢がコンパクトで小さな植穴で、季節を選ばない効率的な植栽が可能





コンテナ苗



コンテナ底面に穴が開いており、コンテナ下部に到達した根が空気に触れると自然に根の成長が止まること

地域産業の振興及び
住民福祉の向上への寄与

木の文化を支える森づくり

○檜皮（ひわだ）採取対象林

歴史的木造建造物の維持・修繕のための資材(檜皮)を持続的に供給する「檜皮採取対象林」を設定し、その供給等に努めています。

※檜皮：社寺の屋根葺き材として用いられるヒノキの樹皮。樹齢70～80年以上の高齢ヒノキ立木から採取される。一度採取すると、次に同じ立木から檜皮を採取できるまでおよそ10年ほど必要。



名　称	面積(ha)	備　考
檜皮採取対象林	9.24	黒木国有林（津山市）
		那岐山国有林（奈義町）



国民参加による森林の整備

○多様な活動の森

森林環境教育や自主的な森林づくり活動、森林保全を目的とした活動を行うためのフィールドを提供しています。





種　類	名　称	面積(ha)	備　考
多様な活動の森	鏡野町白賀渓谷周辺 富栄山等保護活動の森	1.11	桧山国有林 （鏡野町）

森林環境教育の推進

国民参加の森林づくりを推進するため、ＮＰＯ等が行う自主的な森林整備等へのフィールドの提供や必要な技術指導を行うなど、国有林野の積極的な利用を推進します。

また、国有林野の豊かな森林環境を子どもたちに提供するため、学校、自治体、森林インストラクター等多様な主体と連携しつつ、地域の要請に応じた森林環境教育に取り組みます。





加茂中学校（津山市）中学生職業体験の様子

次期計画の検討方向

次期計画の検討方向

１　公益的機能の維持増進

２　林産物の持続的かつ計画的な供給

３　地域産業の振興及び住民福祉の
　　向上への寄与

　国有林の三つの基本方針に基づく、各事業・取組について、現行計画と同水準以上で計画していく考え。

次期計画の検討方向

さらに、次期計画において、公益的機能の維持増進に関して、次の3つの取組について重点的に計画

１　複層林施業の推進

→水源涵養（かん）タイプの人工林について「複層林施業群」の比率を高める（人工林の複層林）

→人工林施業に適さない森林については、針広混交林や天然生林に誘導していく（天然林施業群）

２　自然度の高い森林の保全

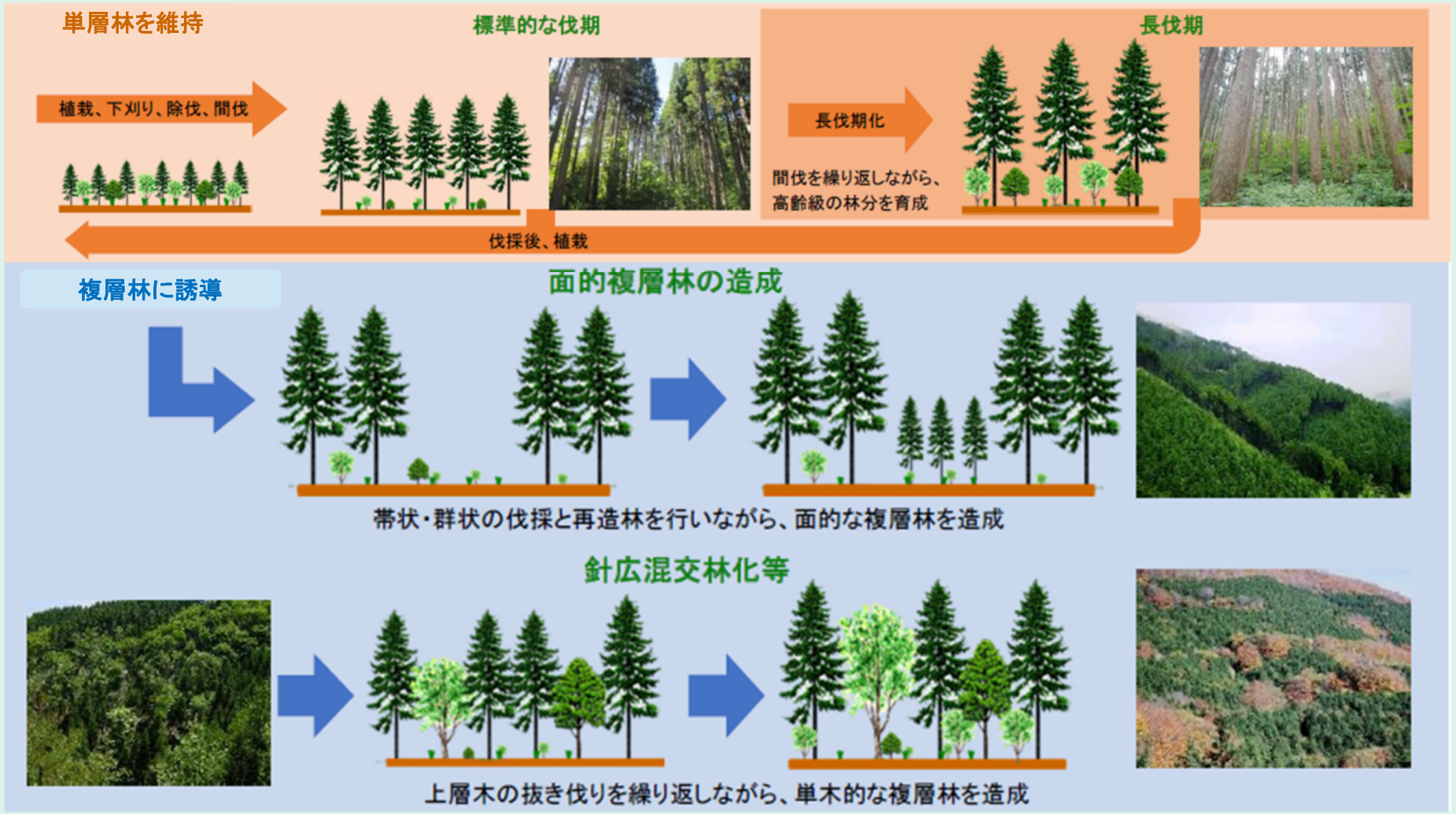
→保護林周辺の自然度の高い森林に係る見直し

３　林地保全に配慮した森林施業の推進

→山地災害リスクの高い森林の機能類型を、「山地災害防止タイプ」に変更

1　複層林施業の推進

森林・林業基本計画に掲げる目標に向け、近畿中国森林管理局においても、自然・社会的条件等を踏まえ、複層林への誘導を推進



２　自然度の高い森林の保全

保護林周辺や奥山などに分布している自然度が比較的に高い森林については、今年度実施中の保護林モニタリング調査の結果等を踏まえ、適切な保全管理の対象と位置付けて自然維持タイプへの変更等を検討

大山森林生態系保護地域



夜叉ヶ池
ヤシャゲンゴロウ希少個体群保護林



３　林地保全に配慮した森林施業の推進

森林は国土のおよそ7割を占め、地形は急峻で複雑かつ脆弱。また、近年全国各地で山地災害が激甚化しており、山腹崩壊、林道の損壊等広域にわたる大規模な山地災害が多発

国有林野では、従来から皆伐の伐採面積をおおむね５ha以下にするなど、公益的機能重視の管理経営を行ってきたが、今後、山地災害によるリスクを軽減するため、これまで以上にきめ細やかに林地保全に配慮した施業に取り組む。

・山地災害危険地区等との位置関係を確認し、機能類型の見直しを図る（山地災害防止タイプへの変更）。

・山地災害防止タイプのうち、急傾斜等に該当する小班をエリア指定し、林産物の搬出を原則として架線集材とする



山地災害危険地区の3区分

次期計画の検討方向

花粉発生源対策の加速化

府県が設定した「スギ人工林伐採重点区域」を含む市町村内の国有林を「重点区域に準じた国有林」に位置付けし、伐採・植え替えを効果的・集中的に実施。

（参考）林野庁の花粉発生源対策

花粉発生源となるスギの人工林について、「伐って、使って、植えて、育てる」といった森林資源の循環利用を推進し、花粉の少ない多様で健全な森林へ転換していきます。

伐って利用します　**花粉を飛散させるスギ人工林等を伐採・利用します。**

住宅に加えて、公共施設や商業施設の木造化等にスギ材を利用することにより、花粉を飛散させるスギ人工林の伐採を進めます。



伐採された木材の利用拡大



花粉発生源である立木の伐倒・搬出

植え替えます　**花粉の少ない苗木等による植替や広葉樹の導入を進めます。**

花粉の少ない苗木の生産増大に取り組み、スギの伐採跡地への植栽を促進します。また、条件不利地においては、伐採後の広葉樹の導入等を進めます。



花粉の少ない苗木等の生産体制を増強

出させません　**スギ花粉の発生を抑える技術の実用化を図ります。**

スギ花粉の飛散防止剤の開発・普及等、スギ花粉の発生を抑え飛散させない技術の実用化を図ります。



花粉飛散防止剤により枯死した雄花



目　標

- 令和5～15年度までにスギ人工林※を2割削減
- 将来的（令和5年度から約30年後）には花粉発生量の半減を目標

※花粉の少ない苗木はスギ人工林に該当しない。

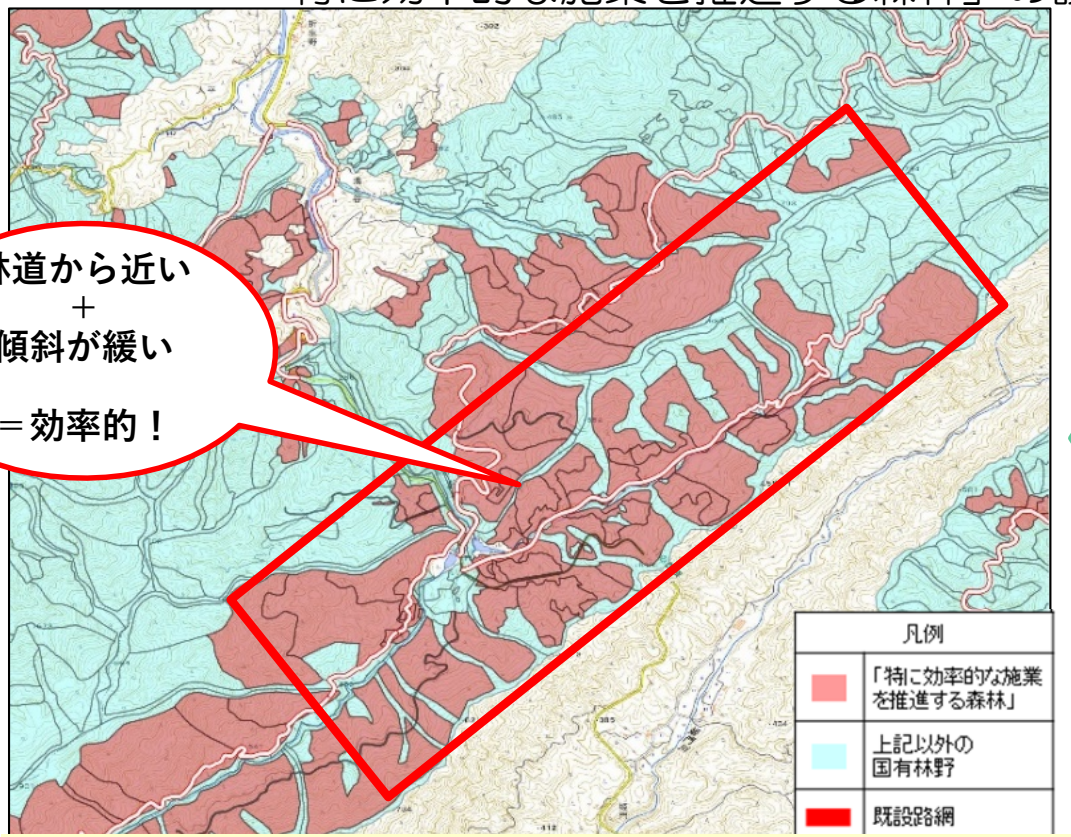
注）大都市近郊における伐採を率先

次期計画の検討方向

「特に効率的な施業を推進する森林」

水源涵養タイプに区分された人工林のうち、地位が比較的高く、急傾斜地以外の自然条件や林道等からの距離が近いなど社会的条件から持続的な林業生産活動に適したものを「特に効率的な施業を推進する森林」に設定

「特に効率的な施業を推進する森林」の設定と取組内容



「新しい林業」の実現に向けた効率的な施業の実施と民有林への普及



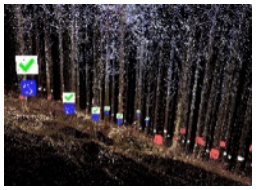
事業発注を通じた林業事業体の育成



木材の安定供給に資する林道の機能強化



このほか、分収造林新規契約やレーザ計測・解析等を優先的に実施



これらの取組を通じて、地域の国産材の安定供給体制の構築や将来的な森林吸収量の確保・強化にも貢献

国民の森林（もり）・国有林の計画づくりに地域の皆様の声を！



森林整備事業（皆伐）
岩渕国有林（津山市）